



日本の気候変動2025 ～近年の異常気象と気候の変化～

気象予報士 井田寛子

この数字は？

41.8

日本の最高気温

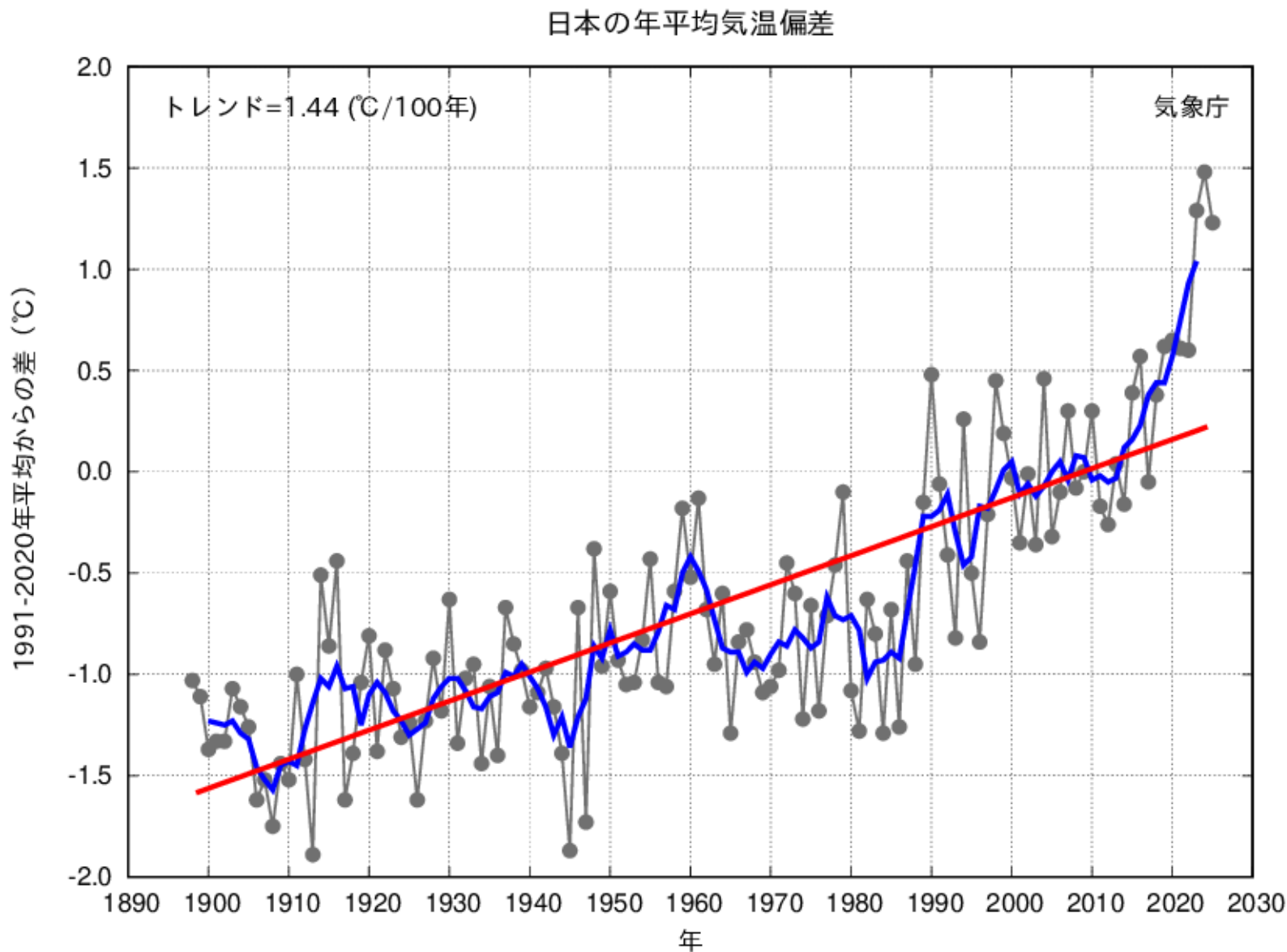
日本の最高気温記録

記録

続々更新！

1位	41.8℃	群馬・伊勢崎市	2025年
2位	41.4℃	埼玉・鳩山市	2025年
3位	41.2℃	群馬・桐生市	2025年
3位	41.2℃	兵庫・丹波市柏原町	2025年
5位	41.1℃	静岡・浜松市	2020年
5位	41.1℃	埼玉・熊谷市	2018年
7位	41.0℃	群馬・前橋市	2025年
7位	41.0℃	栃木・佐野市	2024年
7位	40.8℃	岐阜・美濃市	2018年

2年連続年平均気温更新 (2023/2024年)



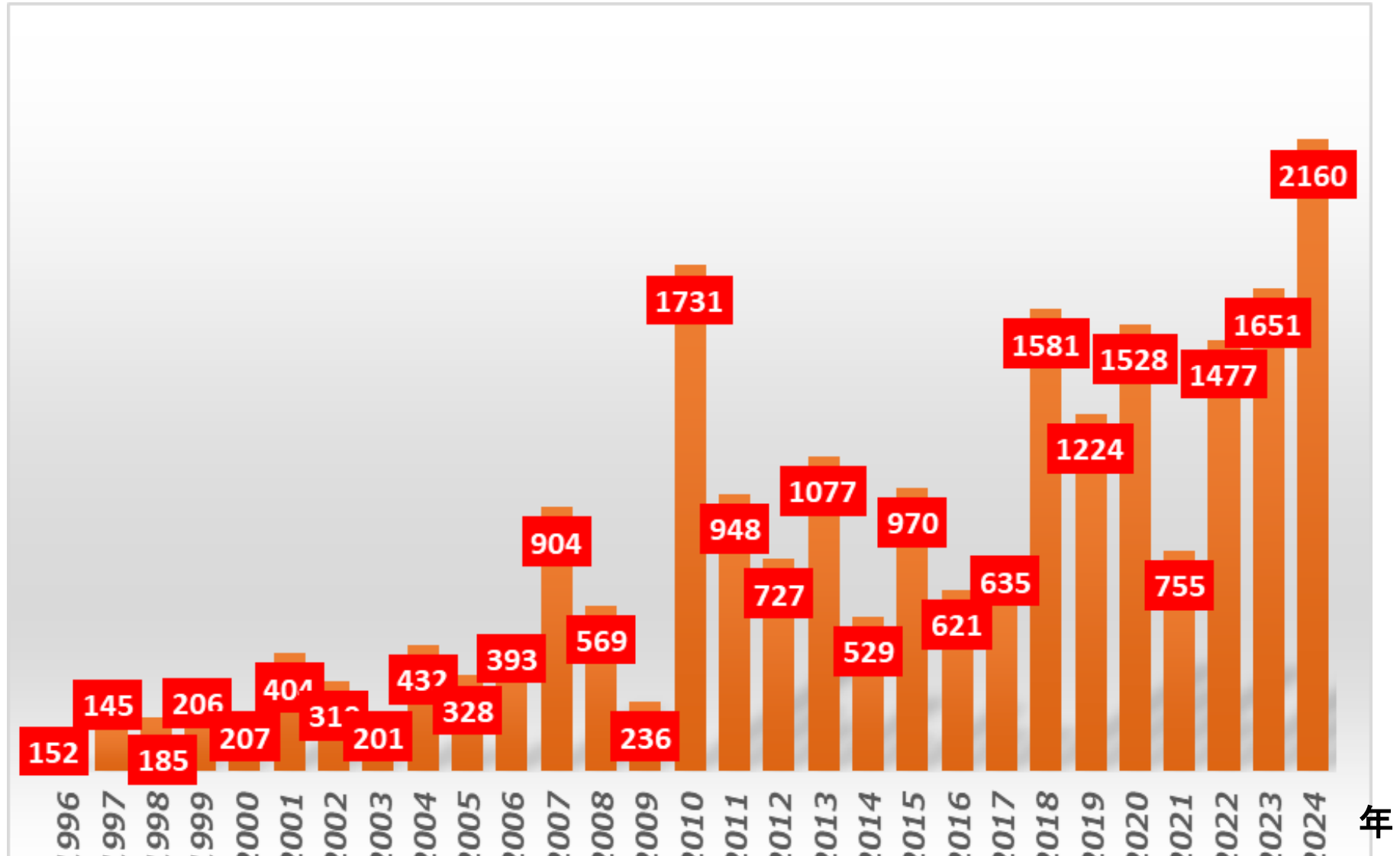
Q. 夏（6月～8月）に全国で
熱中症で亡くなる人は？

① 約 100人

② 約 500人

③ 約1500人

全国の熱中症の死亡者数



熱中症は命を奪う気象災害

近年の 気象災害

2024年 能登半島豪雨

2021年 令和3年8月豪雨

2020年 令和2年7月豪雨 (球磨川・最上川)

2019年 令和元年東日本台風 (台風19号)
台風21号 (近畿・四国で顕著な高潮)

2018年 西日本豪雨 (広島・岡山)

2017年 九州北部豪雨 (福岡県朝倉)

2016年 台風10号 (北海道・岩手)

2015年 関東東北豪雨 (鬼怒川氾濫)

2014年 広島豪雨

2011年 紀伊半島大水害 (台風12号)

← 2013年 特別警報運用開始

日本の気候変動2025

— 大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書 —

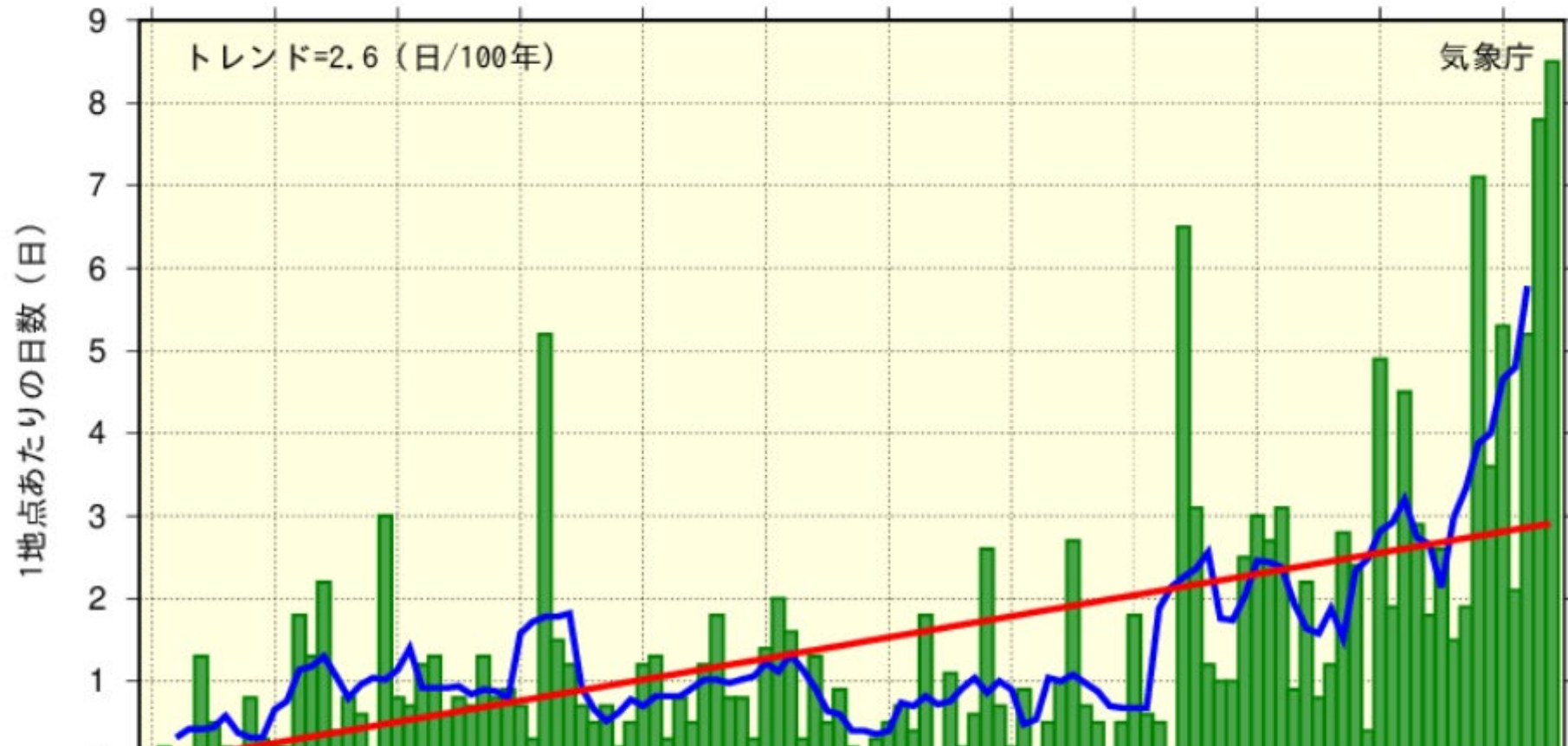
概要版

2025年3月

文部科学省 気象庁

猛暑日が増えている

〔全国13地点平均〕 日最高気温35℃以上の年間日数（猛暑日）

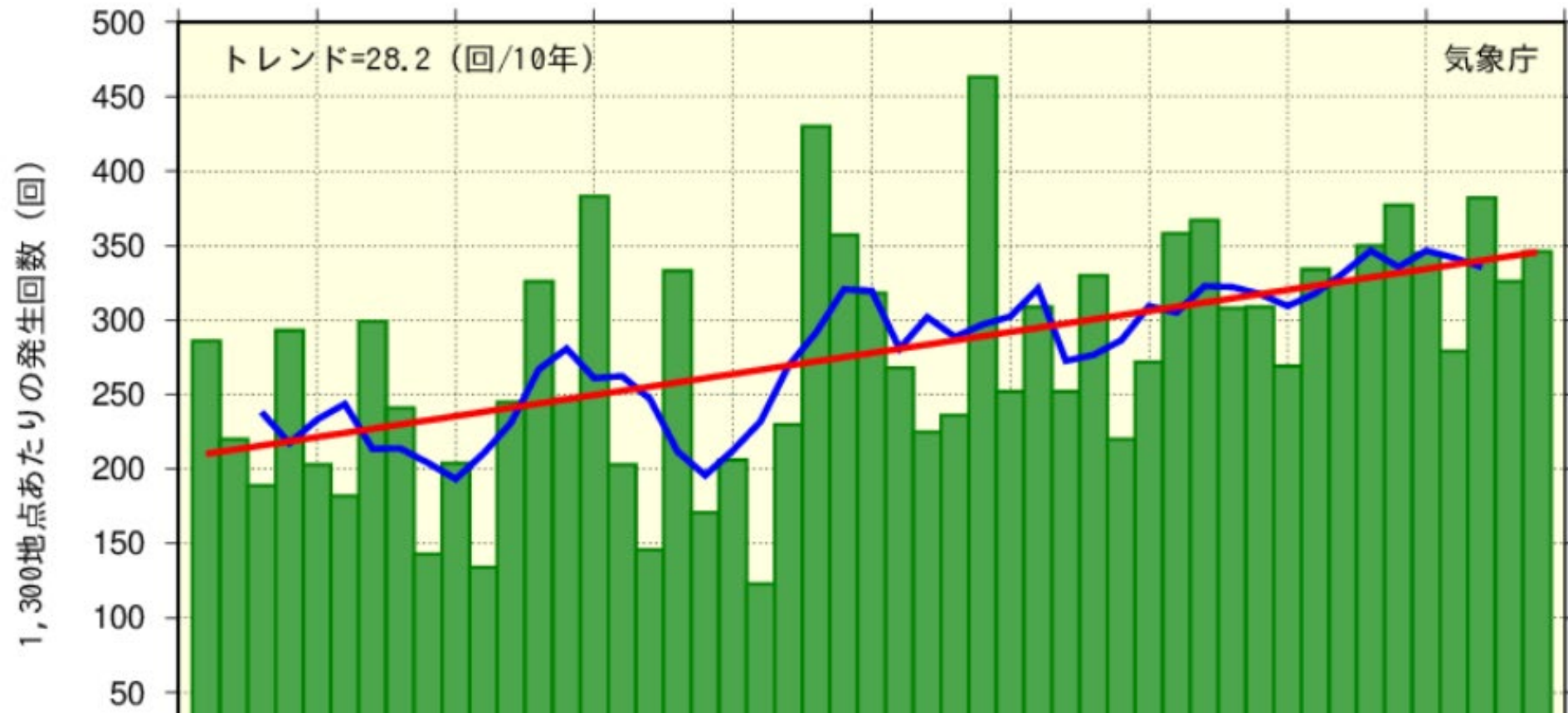


猛暑日 始め30年に比べ約3.9倍

（文部科学省・気象庁 「日本の気候変動2025」）

非常に激しい雨が増えている

〔全国アメダス〕1時間降水量50mm以上の年間発生回数

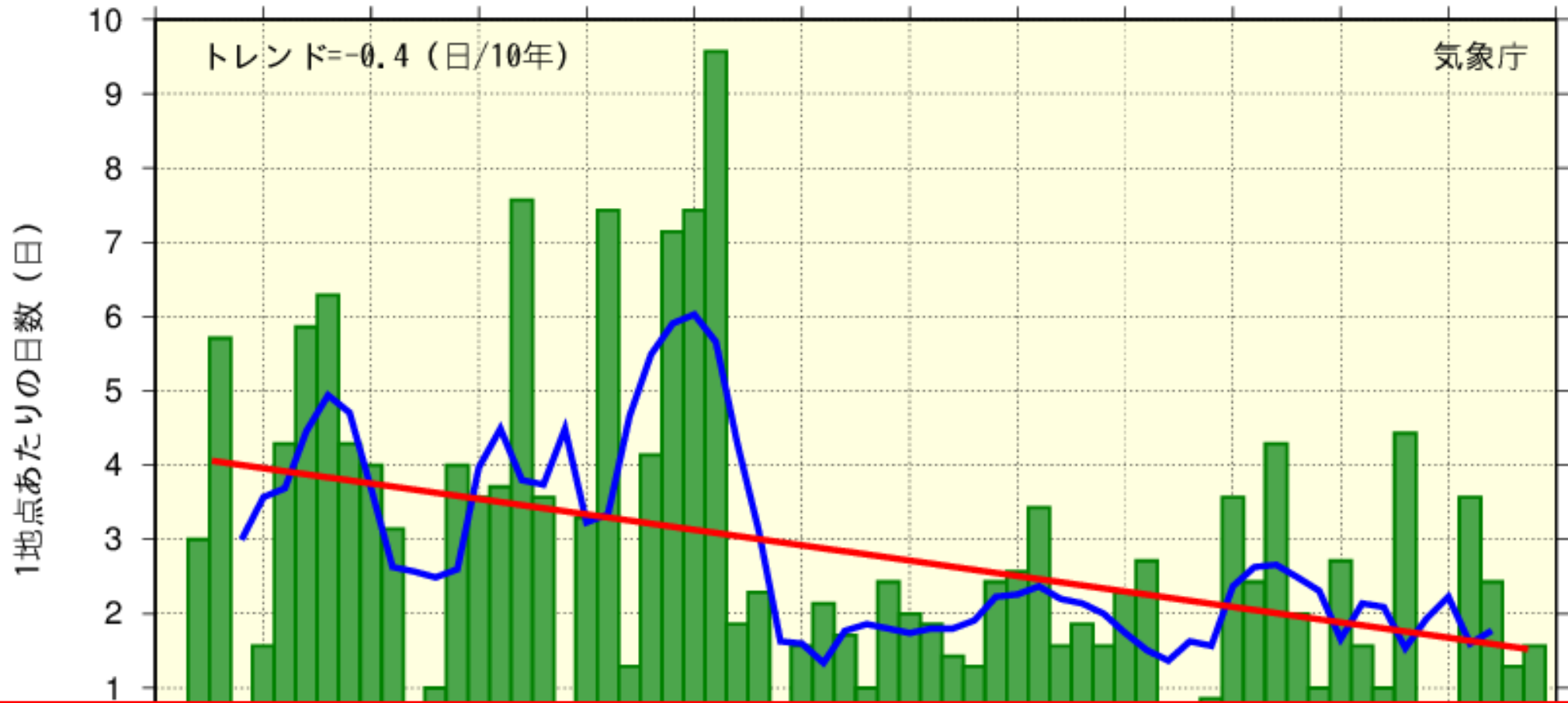


非常に激しい雨 1980年頃と比べ約2倍

(文部科学省・気象庁 「日本の気候変動2025」)

日本海側の 減少している

[東日本日本海側] 日降雪量20cm以上の年間日数



1日20センチ以上の雪日数 1960年頃と比べ半減

(文部科学省・気象庁 「日本の気候変動2025」)

将来予測について

21世紀末の予測：

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告書※1で用いられた2つのシナリオ（RCP2.6とRCP8.5）に基づく、20世紀末と比べた21世紀末※2の予測を記載しています。

RCP2.6シナリオ：

将来の世界平均気温が、工業化以前※3と比べて約2℃上昇することが想定されているシナリオで、

「2℃上昇シナリオ」

と表記しています。

パリ協定の2℃目標が達成された世界に相当し、IPCC第6次評価報告書では、SSP1-2.6シナリオに近いものです。

RCP8.5シナリオ：

将来の世界平均気温が、工業化以前※3と比べて約4℃上昇することが想定されているシナリオで、

「4℃上昇シナリオ」

と表記しています。

追加的な緩和策を取らなかった世界に相当し、IPCC第6次評価報告書では、SSP5-8.5シナリオに近いものです。

温暖化の程度に応じた予測：

20世紀末※2では100年に一回の頻度で発生していたような大雨が、工業化以前※3と比べて世界平均気温がそれぞれ**1.5℃、2℃、4℃**上昇した場合、どれくらいの頻度で発生するかを記載しています。なお、ここでは1日の降水量（日降水量）を解析しています。また、2℃上昇シナリオと4℃上昇シナリオにおいて、1.5℃、2℃、4℃それぞれの温度上昇が見込まれる、おおよその年代をそえて解説しています。

※1 最新のIPCC報告書は第6次評価報告書ですが、日本付近の予測で参照可能な結果の多くは第5次評価報告書に基づくためです。

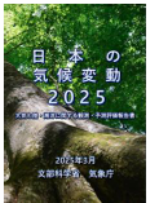
※2 「21世紀末の予測」で用いる、20世紀末は1980～1999年（海面水温は1986～2005年）の平均、21世紀末は2076～2095年（同、2081～2100年）の平均です。「温暖化の程度に応じた予測」では、20世紀末は1981～2010年です。

※3 工業化以前は1850～1900年の平均です。

全国の情報はこちら

日本の気候変動2025

（文部科学省・気象庁、令和7年3月公表）



日本の気候変動の現状と予測に関する最新の知見を紹介

気象庁ホームページからご覧ください↓



解説動画はこちらから↓



気候変動の影響と適応

気候変動適応情報プラットフォーム

（A-PLAT（国立環境研究所））

気候変動は様々な分野に影響を及ぼします。具体的な影響やそれに対応するための適応策については、A-PLATも参照ください。



A-PLAT



A-PLATのホームページ

気候変動適応

検索



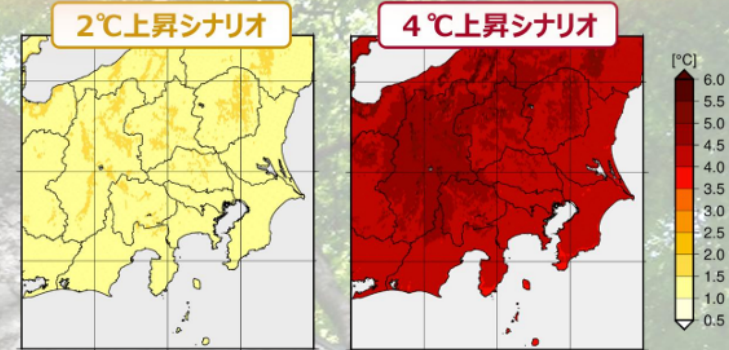
東京管区気象台 東京都清瀬市中清戸3-235 TEL: 042-497-7218

東京都の気候変動

気温の上昇



雨の降り方の極端化



年平均気温の将来予測（21世紀末）

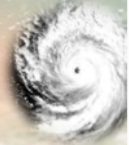
20世紀末からの上昇量（シナリオ等の詳細は裏面参照）

狭い領域の変化は不確実性が大きいので、都道府県程度の広範囲の変化に着目ください

海面水温の上昇



台風強度の増大



このリーフレットでは、「日本の気候変動2025」（文部科学省・気象庁）に基づき、これまでの気候の変化と将来予測に関する情報をまとめています。

関東甲信地方の気候の変化については、気象庁ホームページからご覧ください。



気象庁ホームページ「日本の各地域における気候の変化」

令和7年3月
東京管区気象台

気温の上昇

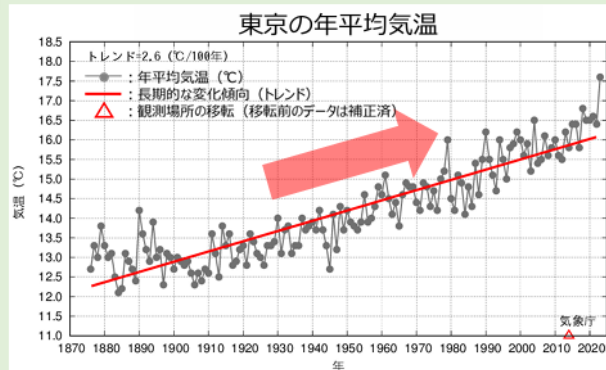
これまでの変化

100年あたり
2.6℃上昇※

※右のグラフのデータから算出した
100年あたりの平均的な上昇率です。

最新の変化傾向は、
A-PLAT「気象観測
データの長期変化の
傾向」をご覧ください。

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/data/jma-obs/index.html>



21世紀末の予測

熱中症等のリスク増加

東京都の年平均気温は、20世紀末と比べて、

2℃上昇シナリオで約**1.4℃**、4℃上昇シナリオで約**4.3℃**上昇

年間猛暑日¹ 2日 → **約8日** / **約30日**

年間熱帯夜² 7日 → **約21日** / **約62日**

日数は左から、東京都平均の20世紀末の観測値、21世紀末（2℃ / 4℃上昇シナリオ）の予測値

猛暑日は日最高気温が35℃以上の日です。

熱帯夜は夜間の最低気温が25℃以上の日を指しますが、ここでは便宜上、日最低気温が25℃以上の日を熱帯夜として扱っています。

海面水温の上昇

21世紀末の予測

関東の南の年平均海面水温は、
20世紀末と比べて、

2℃上昇シナリオでは約**0.97℃**、
4℃上昇シナリオでは約**2.88℃**上昇

関東の南が示す海域は、気象庁ホームページ「海面水温の長期
変化傾向(日本近海)」を参照ください。

台風強度の増大

将来予測^{※1}

日本付近の台風強度^{※2}は**強まる**
台風に伴う降水量も**増加**



※1 温暖化に伴う台風の変化を解
析した様々な研究結果に基づきます。

※2 中心付近の気圧または風の強さ

雨の降り方の極端化

これまでの変化

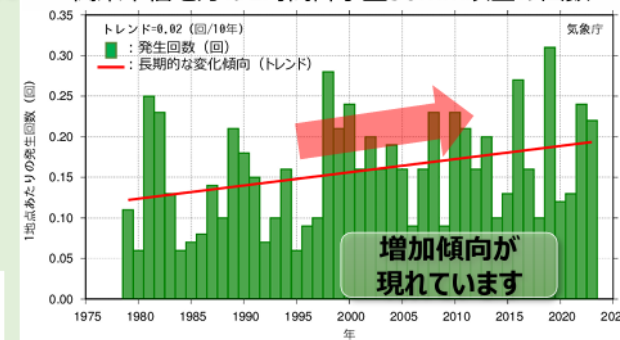
近年の豪雨事例の中
には、地球温暖化に伴う
水蒸気量の増加も影響
したと評価しているもの
があります。

最新の変化傾向は、
A-PLAT「気象観測
データの長期変化の
傾向」をご覧ください。

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/data/jma-obs/index.html>



関東甲信地方の1時間降水量50mm以上の回数



増加傾向が
現れています

21世紀末の予測

傘は全く役に立たなくなる
ような降り方です

土砂災害や渇水等
のリスク増加

20世紀末と比べて、関東甲信地方の

1時間降水量50mm以上の年間発生回数は、

2℃上昇シナリオでは約**1.9倍**、4℃上昇シナリオでは約**3.5倍**に増加

雨の降らない日は年間で、

2℃上昇シナリオでは約**4日**、4℃上昇シナリオでは約**10日**増加

温暖化の程度に応じた予測

20世紀末には100年に一回しか起こらなかった大雨^{※1}が**より頻繁に**

関東甲信地方
の予測

温暖化の程度	1.5℃上昇	2℃上昇	4℃上昇
20世紀末	2023-2042年頃 2018-2037年頃	※2 2032-2051年頃	2075-2094年頃
100年当たり の発生頻度	1回	約1.6回	約2.1回
			約3.7回

観測データ^{※3}による推定では、
100年に一回の大雨（日降水量）
は、東京では約299mmです。
温暖化が進むと、こうした大雨が
より頻繁に発生します。

※1 ここでは日降水量に基づく結果を示します。
※2 2031-2050年頃に2℃上昇となる可能性はあります。
※3 1976-2023年のうち利用可能な観測データです。

詳しい情報は、気象庁ホームページ
「極端現象発生頻度マップ」をご覧ください。

各シナリオにおける
おおよその年代

2℃上昇シナリオ
(SSP1-2.6)
4℃上昇シナリオ
(SSP5-8.5)





気象庁/知識・解説
チャンネル登録者数 4870人

登録

地... 2025 後で見る

共有

気候変動・気候変動とは、化石燃料の燃焼をはじめとした人...

大気・陸・海洋に関する観測・予測評価報告書



気象キャスター 松葉



気象庁 苗田

地球温暖化 将来予測

見る YouTube の上昇による気候への影響を解説!!

日本語字幕・手話通訳付きの動画はこちら（YouTube）

気温



「日本の気候変動2025」の解説動画【気... 後で見る

共有

気候変動・気候変動とは、化石燃料の燃焼をはじめとした人...

大気・陸・海洋に関する観測・予測評価報告書



気象キャスター 敷波



気象庁 南

地球温暖化 将来予測

日本の気候変動2025

「日本の気候変動2020」の後継として、より充実した内容の「日本の気候変動2025」を2025年3月26日に公表しました。

（2025.6.17）本編及び詳細編の一部に誤りがあったため、修正しました。修正箇所は正誤表をご覧ください。現在掲載している報告書（PDF版及びHTML版）は修正済みです。



概要版
／まずはこちらから／

PDF版

English(PDF)

PPT版



本編
／基本を網羅／

HTML版

PDF版

正誤表(PDF)



詳細編
／より詳しく／

PDF版

PDF版章別

正誤表(PDF)



都道府県別リーフレット

PDF形式



解説動画

動画形式



素材集

素材集

地球温暖化で異常気象が増える

19世紀後半と比べて		1℃ 上昇	1.5℃ 上昇	2℃ 上昇	4℃ 上昇
	10年に一度の 熱波	2.8倍	4.1倍	5.6倍	9.4倍
	10年に一度の 大雨	1.3倍	1.5倍	1.7倍	2.7倍
	10年に一度の 干ばつ	1.7倍	2.0倍	2.4倍	4.1倍
	海面上昇	20cm	28~ 55cm	32~ 62cm	63~ 101cm

I P C Cが公表した6つの評価報告書

報告書	公表年	人間活動が及ぼす温暖化への影響についての評価
第1次報告書 First Assessment Report 1990(FAR) 	1990年	気温上昇を生じさせるだろう
第2次報告書 Second Assessment Report: Climate Change 1995(SAR) 	1995年	影響が全地球の気候に表れている
第3次報告書 Third Assessment Report: Climate Change 2001(TAR) 	2001年	可能性が高い（66%以上）
第4次報告書 Forth Assessment Report: Climate Change 2007(AR4) 	2007年	可能性が非常に高い（90%以上）
第5次報告書 Fifth Assessment Report (AR5) 	2013～ 2014年	可能性が極めて高い（95%以上）

第6次評価報告書（AR6）2021年「疑う余地がない」

「緩和策」と「適応策」

温室効果ガスを

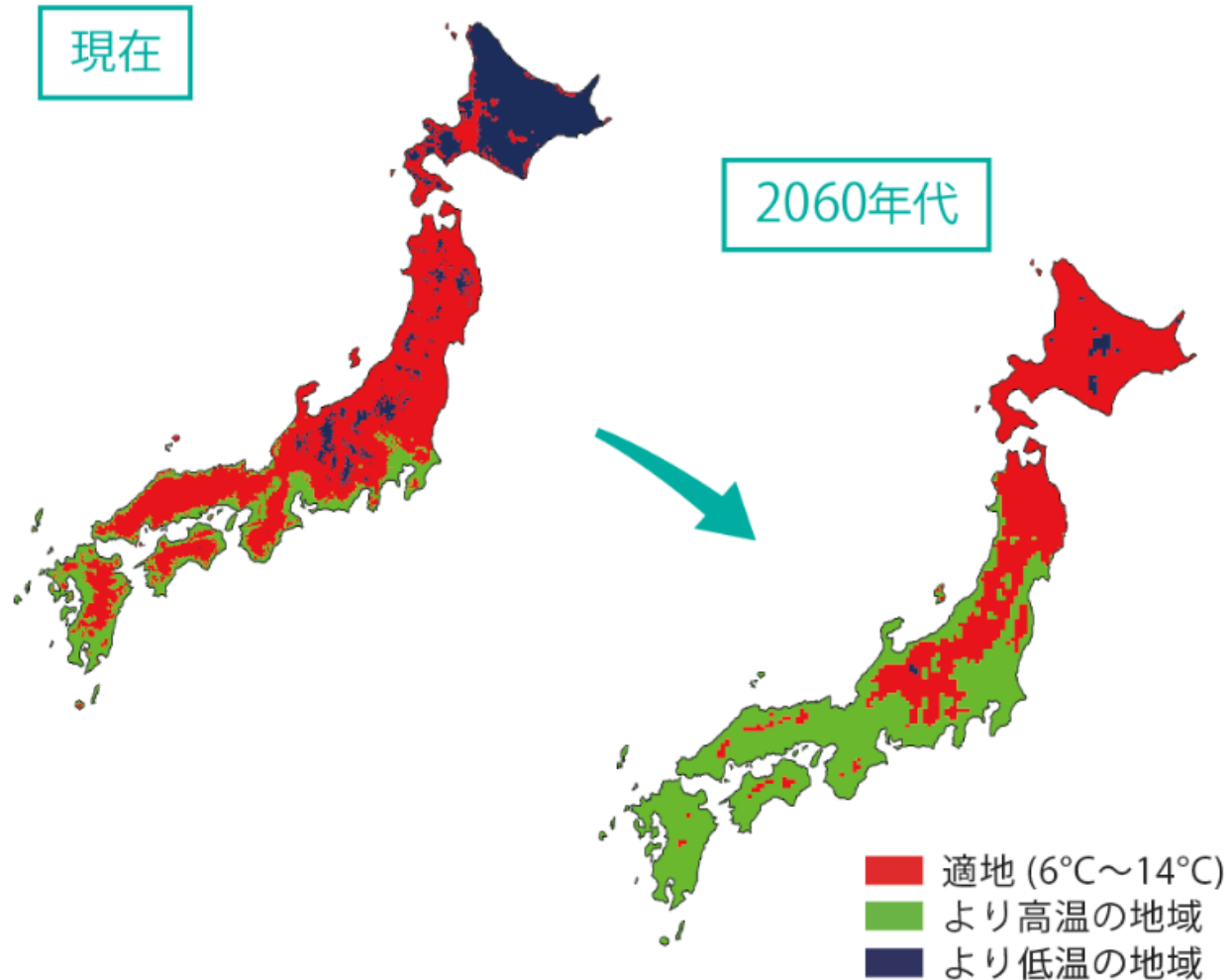
減らす
緩和策



温暖化による
影響に

備える
適応策

気候変動によるリンゴ栽培適地の変化



出典: 杉浦 (2020) を一部改変

A-PLAT HPより

適応策

和歌山県果樹試験場 うめ研究所

安定生産できる梅の品種・技術の開発

夏の日差しにより外見を
損なう「日焼け果」発生



新品種の開発
最低でも木を植えて20数年
品種登録までに10年以上



A-PLAT HPより

個人でできる10の行動

1



家庭で節電する

私たちが使用する電力や熱の大部分は、石炭や石油、ガスを燃料としています。冷暖房の使用を抑え、LED電球や省エネタイプの電化製品に取り替え、冷水で洗濯し、乾燥機を使わずに干して乾燥させることで、エネルギー消費量を減らしましょう。

2



徒歩や自転車で移動する、 または公共交通機関を利用する

軽油やガソリンを燃焼させる自動車の代わりに徒歩や自転車で移動すれば、温室効果ガスの排出が削減され、健康と体力の増進に役立ちます。移動距離が長いときは列車やバスの利用を、自動車は相乗りを検討しましょう。

3



野菜をもっと多く食べる

野菜や果物、全粒穀物、豆類、ナッツ類、種子の摂取量を増やし、肉や乳製品を減らすと環境への影響を大幅に軽減できます。一般に、植物性食品の生産による温室効果ガスの排出はより少なく、必要なエネルギーや土地、水の量も少なくなります。

4



長距離の移動手段を考える

飛行機は大量の化石燃料を燃やし、相当量の温室効果ガスを排出します。飛行機の利用を減らすことは、環境への影響を軽減する最も手取り早い方法の一つです。可能な限りオンラインで会ったり、列車を利用したり、長距離移動そのものをやめたりしましょう。

5



廃棄食品を減らす

食料を廃棄すると、食料の生産、加工、梱包、輸送のために使った資源やエネルギーも無駄になります。また、埋め立て地で食品が腐敗すると、強力な温室効果ガス的一种であるメタンガスが発生します。購入した食品は使い切り、食べ残しはすべて堆肥にしましょう。

ACT NOW

誰もが気候変動を止めるためにできることがあります。
移動手段から使用する電力、食べ物、そして声を上げることに至るまで、
私たちは変化をもたらすことができます。



気候危機に立ち向かうために、
ここにある10の行動から始めましょう。



6



リデュース、リユース、 リペア、リサイクル

私たちが購入する電子機器や衣類などは、原材料の抽出から製品の製造、市場への輸送まで、生産の各時点で炭素を排出します。買う物を減らし、中古品を購入し、修理できるものは修理し、リサイクルして地球の気候を守りましょう。

7



家庭のエネルギー源を替える

電力会社に、自宅のエネルギー源が石油、石炭、ガスのどれなのか、また、風力や太陽光などの再生可能エネルギー源への切り替えができるのか確かめましょう。あるいは、自宅の屋根にソーラーパネルを設置して家庭で使用する電力を賄いましょう。

8



電気自動車に乗り替える

自動車を購入予定なら電気自動車を検討してください。より安価なモデルが数多く出回っています。化石燃料から作られた電力で走行するにしても、電気自動車はガソリン車やディーゼル車より大気汚染の軽減に役立ち、温室効果ガスの排出量が大幅に削減されます。

9



環境に配慮した製品を選ぶ

あなたには、どんな商品やサービスを支持するかを選択する力があります。環境に及ぼす影響を軽減するために、地元の食品や旬の食材を購入し、責任を持って資源を使ったり、温室効果ガス排出や廃棄物の削減に力を入れている企業の製品を選びましょう。

10



声を上げる

声を上げることが、変化をもたらす最も手取り早く最も効果的な方法の一つです。あなたの隣人や同僚、友人、家族と話してください。経営者には、あなたが大胆な変革を支持することを伝えましょう。地域や世界のリーダーたちに、今こそ行動を起こすように訴えましょう。



あいがとう
ございました！！

日本の気候変動2025 ～近年の異常気象と気候の変化～

気象予報士 井田寛子